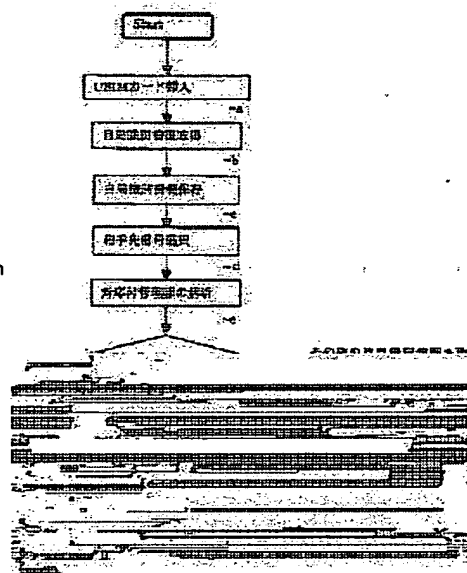


COMMUNICATION TERMINAL AND ELECTRONIC EQUIPMENT WITH COMMUNICATION FUNCTION

Publication number: JP2002291043 (A)
 Publication date: 2002-10-04
 Inventor(s): KURODA YASUKO
 Applicant(s): TOKYO SHIBAURA ELECTRIC CO
 Classification:
 - international: H04M1/00; H04M1/2745; H04M1/56; H04M1/57; H04M11/00; H04Q7/38; H04M1/00; H04M1/274; H04M1/56; H04M1/57; H04M11/00; H04Q7/38; (IPC1-7) H04Q7/38; H04M1/00; H04M1/2745; H04M1/56; H04M1/57; H04M11/00
 - European:
 Application number: JP20010090064 20010327
 Priority number(s): JP20010090064 20010327

Abstract of JP 2002291043 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a communication terminal that can automatically conduct transmission processing on purpose by eliminating trouble of need of consciousness about the number of own station identification information items, contents, call opposite parties, time and location included in an IC card in the case of transmission. **SOLUTION:** When a destination number for a call by a caller is selected (Figure 3 (d)), an adaptive management section (s2) is analyzed on the basis of the number or other conditions (Figure 3 (e)), an adaptive information acquisition section (s1) acquires corresponding own station identification information (Figure 3 (f)), and a setup processing section (SETUP) conducts setup on the basis of the acquired own station identification information (Figure 3 (g)).



Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-291043

(P2002-291043A)

(43) 公開日 平成14年10月4日 (2002. 10. 4)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト ⁷ (参考)
H 0 4 Q	7/38	H 0 4 M	1/00 S 5 K 0 2 7
H 0 4 M	1/00		1/2745 5 K 0 3 6
	1/2745		1/56 5 K 0 6 7
	1/56		1/57 5 K 1 0 1
	1/57		11/00 3 0 2
審査請求 未請求 請求項の数14 O L (全 9 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2001-90064(P2001-90064)

(22) 出願日 平成13年3月27日 (2001. 3. 27)

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

東京都港区芝浦一丁目1番1号

(72) 発明者 黒田 靖子

東京都目黒区旭が丘3丁目1番地の1 株

式会社東芝日野工場内

(74) 代理人 100083161

弁理士 外川 英明

Fターム(参考) 5K027 BB01 EE04 MM03

5K036 BB01 DD26 DD48 JJ02 JJ04

5K067 AA34 BB03 BB04 DD17 FF23

GG01 HH23 HH32

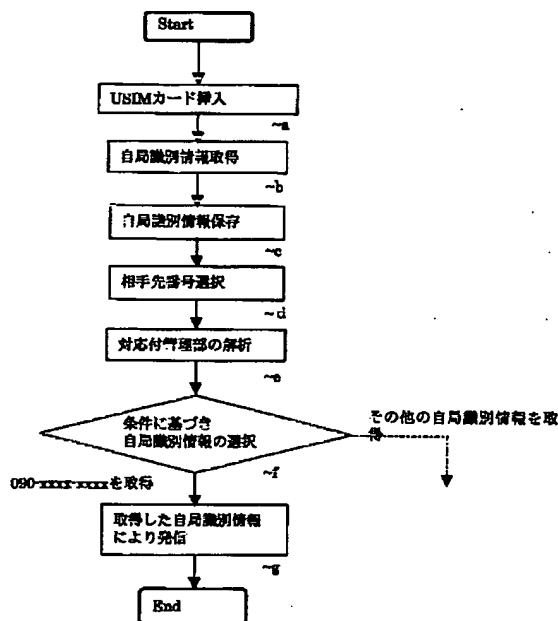
5K101 LL01 NN05 NN11 NN21

(54) 【発明の名称】 通信端末および通信機能を有する電子機器

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、発信を行う際に、ICカード内に含まれる自局識別情報の数及び、内容や、発信相手、時間、場所を意識する手間を省き、目的に応じた発信処理を自動的に行う通信端末を提供することを目的とする。

【解決手段】 発信者が発信を行う相手先の番号が選択されると(図3(d))、その番号、あるいはその他の条件に基づいて対応付管理部(s2)の解析を行い(図3(e))、該当する自局識別情報を対応情報取得部(s1)で取得し(図3(f))、取得された自局識別情報により発信処理部(SETUP)において発信処理を行う(図3(g))



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の自局識別情報を含む記憶手段を具備する通信端末において、
発信する際に用いる自局識別情報を前記記憶手段から選択する選択手段と、
前記選択手段が選択する自局識別情報を用いて発信処理を行う発信制御手段とを具備することを特徴とする通信端末。

【請求項2】 予め発信する相手先の情報と自局識別情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、
発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項1記載の通信端末。

【請求項3】 以前に発信する際に使用した自局識別情報と発信した相手先情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項1記載の通信端末。

【請求項4】 以前に着信を受けた際の自局識別情報と着信を受けた相手先情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項1記載の通信端末。

【請求項5】 予めある時間帯と自局識別情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項1記載の通信端末。

【請求項6】 予めある位置情報と発着信情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項1記載の通信端末。

【請求項7】 自局識別情報毎に自局識別情報を通知するか否かの設定を管理する管理手段を具備し、

発信制御手段が発信を行う際、前記管理手段に記憶される設定に基づいて、自局識別情報の通知または非通知を行うことを特徴とする請求項1記載の通信端末。

【請求項8】 複数の自局識別情報を含む記憶手段を具備する通信機能を有する電子機器において、

発信する際に用いる自局識別情報を前記記憶手段から選択する選択手段と、
前記選択手段が選択する自局識別情報を用いて発信処理を行う発信制御手段とを具備することを特徴とする通信機能を有する電子機器。

【請求項9】 予め発信する相手先の情報と自局識別情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する

自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項8記載の通信機能を有する電子機器。

【請求項10】 以前に発信する際に使用した自局識別情報と発信した相手先情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項8記載の通信機能を有する電子機器。

【請求項11】 以前に着信を受けた際の自局識別情報と着信を受けた相手先情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項8記載の通信機能を有する電子機器。

【請求項12】 予めある時間帯と自局識別情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項8記載の通信機能を有する電子機器。

【請求項13】 予めある位置情報と発着信情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、

発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴とする請求項8記載の通信機能を有する電子機器。

【請求項14】 自局識別情報毎に自局識別情報を通知するか否かの設定を管理する管理手段を具備し、

発信制御手段が発信を行う際、前記管理手段に記憶される設定に基づいて、自局識別情報の通知または非通知を行うことを特徴とする請求項8記載の通信機能を有する電子機器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、少なくとも通信に必要な情報を含むICカードが着脱可能な通信端末において、発信を行う際に自分の自局識別情報を自動的に選択する方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】ヨーロッパで規格化された移動通信システムの1つであるGSM(Global system for mobile communication)では、SIM(Subscriber Identity Module)カードと呼ばれるICカードに移動通信ネットワークと接続するための自局識別情報などの発着信に必要な情報が含まれており、このカードを挿入しなければ移動局は移動通信ネットワークを介して、他の通信端末との発信や着信ができない規格となっている。この考えは、近年サービス開始が予定されている第3世代携帯電話と呼ばれるIMT-2000にも引き継がれており、USIM(User Subscriber Identity Module)カードとし

て標準化が勧められている。

【0003】このUSIMカードは、第1図に示すように、MF (Master File)、DF (Dedicated File)、ADF (Application Dedicated File)、EF (Elementary File) で構成されており、EF_DIRには、このUSIMカード内にあるADFに関する情報が含まれており、ADFの含まれている数も取得することができる。各ADF (Application Dedicated File) はそれぞれ独立しており、このADF毎に、通信に必要な認証アルゴリズム、自局識別情報、電話帳などの種々の情報がファイルという形式で存在する。この自局識別情報はEF_IMSIに含まれている。

【0004】例えば、図1におけるEF4をEF_IMSIであるとする、各ADF毎にEF_IMSIは存在する。つまり、複数のADFを持つUSIMカードは複数のEF_IMSIを持つことになり、複数の自局識別情報から1つを選択して通信を行うことが可能であり、また、USIMカードは差し換え可能であるため、自局識別情報は動的に変化するということである。ここで、自局識別情報とは、発信処理を行う際に、端末が属する移動通信ネットワークに渡され、ひとつの自局番号に変換されるものであり、自局識別情報を複数所有することは自局番号を複数所有することに値する。

【0005】また、現在、国内においては、1つの端末で複数の自局識別情報を持つことが可能な携帯電話無線機が実現されているが、この携帯電話無線機は、PHS (Personal Handyphone System) とPDC (Personal Digital Cellular) 双方での待ち受けが可能なデュアルモード端末である。

【0006】このデュアルモード端末においては、1つの端末で2つの自局識別情報を使い分けることが可能であるが、実際に発信する際には自分でどちらの自局識別情報を使用するかその状況に応じて判断し、自分の手で自局識別情報を選択し、発信するという動作が必要であった。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】以上説明したように、発信を行う際に複数の自局識別情報を所有する場合には、発信を行う度に発信を行う自局識別情報を選択し、電話帳から相手の番号を検索し、発信するというような動作が必要となる。しかし、発信するたびに誰にかけるのか、どういう目的でかけるのか、今どこにいるのかなどを意識し、自局識別情報を選択するのは手間でもあり、また、同じ相手に毎回違う自局識別情報 (自局番号) で発信を行えば、相手側に発信者番号通知により自局番号の通知が行われても、相手側の電話帳に自局番号が登録されておらず誰であるのかかわからない、あるいは、

相手側の電話帳に予め複数の自局番号を登録してもらわなければならないなどの問題が生じる。また、自局識別情報毎に違う料金体系での契約を行うことも可能であるため、自分が発信を行う時間帯も意識する必要がある。さらに、発信時に挿入されているICカードが複数の自局識別情報を持っているかどうかを意識する必要もあるといった問題点が生じていた。

【0008】そこで、本発明は、発信を行う際に、ICカード内に含まれる自局識別情報の数及び、内容や、発信相手、時間、場所を意識する手間を省き、目的に応じた発信処理を自動的に行う通信端末を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1の発明は、複数の自局識別情報を含む記憶手段を具備する通信端末において、発信する際に用いる自局識別情報を前記記憶手段から選択する選択手段と、前記選択手段が選択する自局識別情報を用いて発信処理を行う発信制御手段とを具備することを特徴としている。

【0010】上記目的を達成するために、請求項2の発明は、請求項1記載の発明において、予め発信する相手先の情報と自局識別情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0011】上記目的を達成するために、請求項3の発明は、請求項1記載の発明において、以前に発信する際に使用した自局識別情報と発信した相手先情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0012】上記目的を達成するために、請求項4の発明は、請求項1記載の発明において、以前に着信を受けた際の自局識別情報と着信を受けた相手先情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0013】上記目的を達成するために、請求項5の発明は、請求項1記載の発明において、予めある時間帯と自局識別情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0014】上記目的を達成するために、請求項6の発明は、請求項1記載の発明において、予めある位置情報と発信者情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0015】上記目的を達成するために、請求項7の発明は、請求項1記載の発明において、自局識別情報毎に自局識別情報を通知するか否かの設定を管理する管理手段を具備し、発信制御手段が発信を行う際、前記管理手段に記憶される設定に基づいて、自局識別情報の通知または非通知を行うことを特徴としている。

【0016】上記目的を達成するために、請求項8の発明は、複数の自局識別情報を含む記憶手段を具備する通信機能を有する電子機器において、発信する際に用いる自局識別情報を前記記憶手段から選択する選択手段と、前記選択手段が選択する自局識別情報を用いて発信処理を行う発信制御手段とを具備することを特徴としている。

【0017】上記目的を達成するために、請求項9の発明は、請求項8記載の発明において、予め発信する相手先の情報と自局識別情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0018】上記目的を達成するために、請求項10の発明は、請求項8記載の発明において、以前に発信する際に使用した自局識別情報と発信した相手先情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0019】上記目的を達成するために、請求項11の発明は、請求項8記載の発明において、以前に着信を受けた際の自局識別情報と着信を受けた相手先情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0020】上記目的を達成するために、請求項12の発明は、請求項8記載の発明において、予めある時間帯と自局識別情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0021】上記目的を達成するために、請求項13の発明は、請求項8記載の発明において、予めある位置情報と発信情報の対応付けを管理する管理手段を具備し、発信制御手段は、選択手段が前記管理手段から選択する自局識別情報を選択して発信処理を行うことを特徴としている。

【0022】上記目的を達成するために、請求項14の発明は、請求項8記載の発明において、自局識別情報毎に自局識別情報を通知するか否かの設定を管理する管理手段を具備し、発信制御手段が発信を行う際、前記管理手段に記憶される設定に基づいて、自局識別情報の通知または非通知を行うことを特徴としている。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照し、本発明の実施の形態について説明する。

【0024】図1は、発着信に必要な情報、つまり、自局識別情報を含むICカードであるUSIMカード内の構成を示す図である。

【0025】USIMカードは、MF、DF、ADF、EFで構成されている。

【0026】EF_DIRはUSIMカード内にADFが含まれている数の情報を持っている。

【0027】ADFはそれぞれ独立して存在し、それぞれが発着信に必要な認証アルゴリズム、自局識別情報、電話帳などの情報をファイル形式で保持している。

【0028】EF4は例えばEF_IMSIのような自局識別情報を保持している。

【0029】図2は、本発明の通信端末の一実施例の構成を示す図である。

【0030】MSは自局識別情報を含むICカードが着脱可能な通信端末、例えば、無線通信端末である。

【0031】USIMは発着信に必要な情報を含むICカードであり、具体的には、図1に示される構成である。

【0032】USIM_INFは発着信情報管理部であり、USIMカードから取得した発着信情報の管理を行う。

【0033】SELECTは発着信情報選択部であり、発信処理を行う際の発着信情報を選択する。

【0034】SETUPは発信処理部であり、発信処理を行う。

【0035】i1は発着信情報数保存部であり、USIMカードから取得された自局識別情報の数を保存する。

【0036】i2は発着信情報保存部であり、USIMカードから取得された自局識別情報の内容を保存する。

【0037】i3は自局識別情報取得部であり、USIMカードから自局識別情報の取得を行う。

【0038】s1は対応情報取得部であり、発信処理を行う際に対応付管理部より該当する自局識別情報を取得する。

【0039】s2は対応付管理部であり、様々な条件と自局識別情報との対応付けを管理する。

【0040】図3は、本発明の一実施例の動作を示す図である。

【0041】aはUSIMカードを通信端末に挿入するステップである。

【0042】bは挿入されたUSIMカードから自局識別情報を取得するステップである。

【0043】cは取得された自局識別情報を保存するステップであり、自局識別情報の数及び内容を保存する。

【0044】符号dは発信を行う相手先番号を選択するステップであり、電話帳から選択、あるいは、直接番号入力などにより行う。

【0045】符号eは対応付管理部を解析するステップであり、選択された相手先番号及びその他の条件に基づき対応する自局識別情報を解析する。

【0046】符号fは自局識別情報を選択するステップであり、対応付管理部の解析結果より発信処理を行う際の自局識別情報を選択する。

【0047】符号gは発信処理を行うステップであり、選択された自局識別情報により発信処理を行う。

【0048】図4は、発信履歴による対応付けを登録する処理を示す図である。

【0049】符号hは通信端末において発信する相手先の番号を選択するステップである。符号iは発信処理を行うための自局識別情報を選択するステップである。

【0050】符号jは手動で選択した相手先の番号と自局識別情報の対応付けを対応付管理部に登録するステップである。

【0051】符号kは選択した自局識別情報により発信を行うステップであり、通常の発信処理を行う。

【0052】図5は、着信履歴による対応付けを登録する処理を示す図である。

【0053】符号lは着信を受けた際の自局識別情報を取得するステップである。

【0054】符号mは着信を受けた相手へ自局識別情報の対応付けが行われているか対応付管理部の解析を行うステップである。

【0055】符号nは対応付管理部に着信相手への自局識別情報の対応付けがすでに登録されているか判断するステップである。

【0056】符号oは対応付管理部に着信相手への自局識別情報の対応付けが登録されていない場合に対応付けを登録するステップである。

【0057】図6は、USIMカードに自局識別情報が3種ある場合の自局識別情報の例である。

【0058】図7は、自局識別情報対応付けを相手先番号により行った場合の例である。

【0059】図8は、発信毎の自局識別情報の履歴の例である。

【0060】図9は、自局識別情報対応付けを発着信の履歴により行った場合の例である。

【0061】図10は、自局識別情報対応付けを時間で行った場合の例である。

【0062】図11は、図7、図10の対応付けで時間に優先度を持たせた場合の、自局識別情報選択結果の例である。

【0063】本発明の動作を図1～図3により説明する。

【0064】自局識別情報を含むICカードが着脱可能な通信端末(MS)で発信を行う際(図3)、発信者が最初にUSIMカード(図1)を挿入する(図3(a))。

【0065】USIMカードが挿入されたら、自局識別情報管理部(USIMINF)の自局識別情報取得部(i3)において、USIMカードから自局識別情報を取得する(図3(b))。

【0066】取得した自局識別情報は自局識別情報数保存部(i1)及び自局識別情報保存部(i2)において保存する(図3(c))。

【0067】次に発信者が発信を行う相手先の番号が選択されると(図3(d))、その番号、あるいはその他の条件に基づいて対応付管理部(s2)の解析を行い(図3(e))、該当する自局識別情報を対応情報取得部(s1)で取得し(図3(f))、取得された自局識別情報により発信処理部(SETUP)において発信処理を行う(図3(g))。

【0068】発信処理において、自局識別情報はネットワークに渡され、自局番号に変換され、通信を行う相手局に対して発信者番号として通知および表示される。

【0069】自局識別情報選択部(SELECT)の対応付管理部(s2)で管理する対応付け基準には、電話帳、電話帳に登録されていない相手先へ発信した際の自局識別情報の履歴、あるいは、相手から着信を受けた際の自局識別情報の履歴、発信を行う時間帯、位置情報、発信者番号の通知/非通知などがある。

【0070】対応付け基準を、対応付け条件を登録されていない相手先へ発信した際の自局識別情報の履歴とする場合には予め発信履歴を登録しておくことが考えられる(図4)。

【0071】例えば、電話帳に登録されていない相手先に発信する際には、毎回、発信する相手先の番号を選択し(図4(h))、次に自局識別情報の選択を行い(図4(i))、その対応付けを対応付管理部に登録する(図4(j))。次に同じ相手に発信する際には、対応付管理部の解析により(図3(e))、予め登録された自局識別情報を取得し発信処理を行う。

【0072】また、対応付け基準を、対応付け条件を登録されていない相手から着信を受けた際の自局識別情報の履歴とする場合にも予め着信履歴を登録しておくことが考えられる。(図5)。

【0073】例えば、電話帳に登録されていない相手から着信を受けた際には、毎回、着信を受けた相手先情報と着信を受けた自局識別情報を取得し(図5(1))、その相手先情報がすでに対応付けを登録されていないか対応付管理部の解析を行い(図5(m))、対応付けが登録されているか判断し(図5(n))、登録されていないければ対応付管理部に登録する(図5(o))。次にそれ以前に着信を受けた相手に発信する際には、対応付管理部の解析により(図3(e))、予め登録された自局識別情報を取得し発信処理を行う。

【0074】また、対応付基準を、発信を行う時間帯とする場合には、対応付管理部に時間帯毎に使用する自局

識別情報を登録しておき、発信する際には対応付管理部の解析によりその時刻に応じて自局識別情報を取得し発信処理を行う。また、対応付基準を位置情報とした場合には、対応付管理部にある位置毎に使用する自局識別情報を登録しておき、発信する際には対応付管理部の解析によりその位置に応じて自局識別情報を取得し発信処理を行う。さらに、対応付管理部に自局識別情報毎に発信者番号通知をするか否かの設定を登録しておき、発信する際に登録内容に応じて発信者番号の通知を行う。

【0075】また、これらの対応付けに優先度をつけ、複数の対応付け管理テーブルを保持し、該当する自局識別情報が複数になってしまう場合に、優先度の高いものを選択する。また、対応付け管理テーブルを持たない場合にも、自局識別情報に優先度を持たせ、優先度の高い自局識別情報により発信処理を行う。

【0076】次に、図6～図11により、具体的な動作例を説明する。

【0077】USIMカードに自局識別情報が3種ある場合に(図6)、対応付管理部は自局識別情報対応付けを相手先の番号で行った場合、図7に示すよう対応付け管理テーブルを持つ。この場合、発信を行う相手先番号として「090-xxx」を選択すれば、自局識別情報はEF_IMSI1が選択される。発信を行う相手先番号として「090-yyy」を選択すれば、自局識別情報はEF_IMSI2が選択される。

【0078】また、自局識別情報対応付けを発着信の履歴で行う場合には、例えば、図8に示すように相手先番号「090-rrr」に自局識別情報EF_IMSI1で発信した、あるいは、相手先番号「090-sss」からEF_IMSI1に着信を受けたという履歴を対応付け管理テーブルに持っている。よって、次に発信する際には図9に示すように、相手先番号「090-rrr」に発信を行う場合、自局識別情報はEF_IMSI1が選択され、相手先番号「090-sss」に発信を行う場合、自局識別情報はEF_IMSI1が選択される。

【0079】また、対応付管理部が自局識別情報対応付けを発信を行う時間帯で行った場合、図10に示すような対応付け管理テーブルを持っている。この場合、相手先番号「090-xxx」「090-yyy」「090-zzz」のいずれに発信を行っても、自局識別情報にはEF_IMSI3が選択される。さらに、図7、図10に示すテーブルの双方を持ち、時間による対応付けの方が優先度が高い場合には、図11に示すように、相手先番号「090-xxx」にAM3:00に発信を行った場合には、自局識別情報はEF_IMSI3が選択され、相手先番号「090-yyy」にPM8:00に発信を行った場合には、自局識別情報はEF_IMSI2

が選択されることになる。

【0080】尚、本発明の実施の形態においては、携帯電話などに代表される通信端末を例に挙げて説明したが、携帯電話に限定されるものではない。

【0081】また、例えば、パーソナルコンピュータのPCスロットに装着して用いるUSIMを具備する通信カードなどの、通信機能を有する電子機器にも適用できるものである。

【0082】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、発信を行う際に、自動的に発信処理を行う自局識別情報を選択し、発信を行うたびに、自分で自局識別情報を選択する手間を省く。また、発信する相手、目的、時間等を意識することを不要にすることができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態における発着信に必要な情報、つまり、自局識別情報を含むICカードであるUSIMカード内の構成を示す図である。

【図2】 本発明の実施の形態における通信端末の一実施例の構成を示す図である。

【図3】 本発明の実施の形態における動作を示す図である。

【図4】 本発明の実施の形態における発信履歴による対応付けを登録する処理を示す図である。

【図5】 本発明の実施の形態における着信履歴による対応付けを登録する処理を示す図である。

【図6】 本発明の実施の形態におけるUSIMカードに自局識別情報が3種ある場合の自局識別情報の例である。

【図7】 本発明の実施の形態における自局識別情報対応付けを相手先番号により行った場合の例である。

【図8】 本発明の実施の形態における発着信毎の自局識別情報の履歴の例である。

【図9】 本発明の実施の形態における自局識別情報対応付けを発着信の履歴により行った場合の例である。

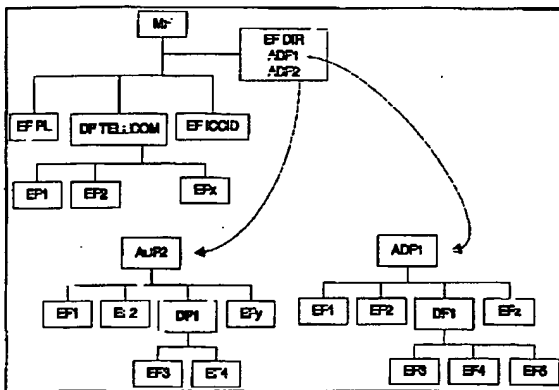
【図10】 本発明の実施の形態における自局識別情報対応付けを時間で行った場合の例である。

【図11】 本発明の実施の形態における図7、図10の対応付けで時間に優先度を持たせた場合の、自局識別情報選択結果の例である。

【符号の説明】

MS…通信端末、USIM…USIMカード、USIM INF…自局識別情報管理部、SELECT…自局識別情報選択部、SETUP…発信処理部、i1…自局識別情報数保存部、i2…自局識別情報保存部、i3…自局識別情報取得部、s1…対応情報取得部、s2…対応付管理部

【図1】



【図6】

USIM 自局識別情報	
EF_IMSI1	090-AAA
EF_IMSI2	090-B*B
EF_IMSI3	090-CCC

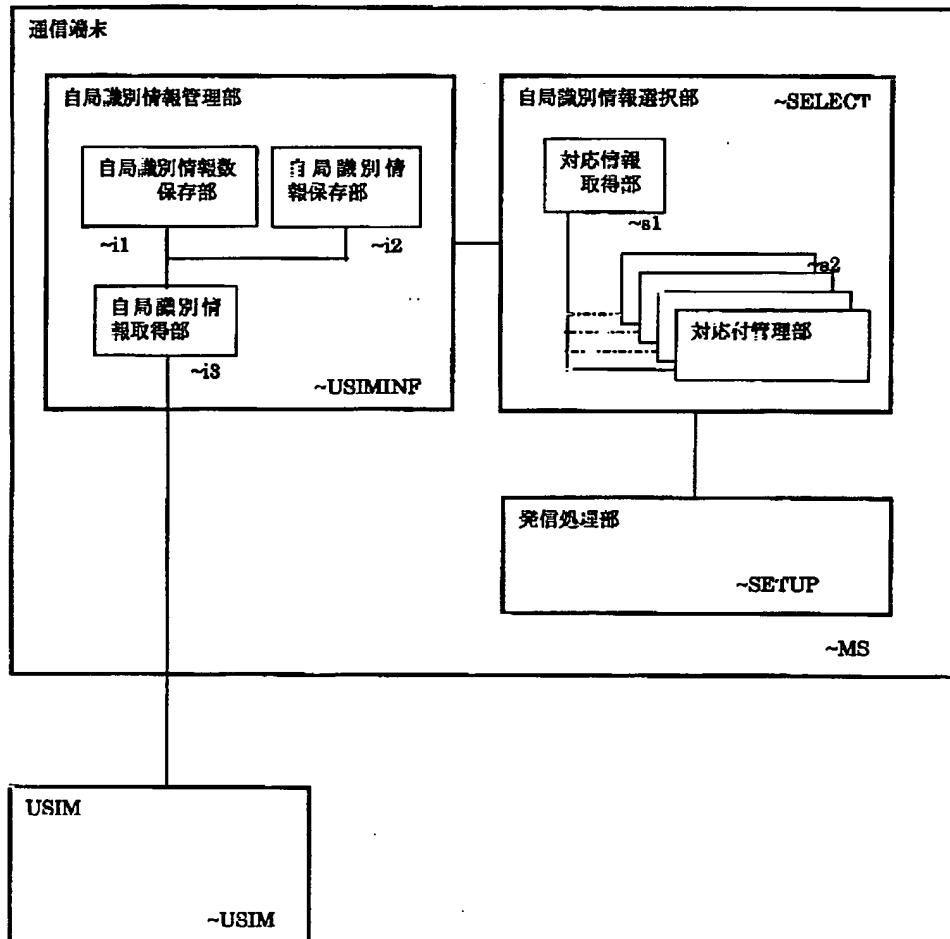
【図7】

相手先番号	相手先による対応付け
090-xxx	EF_IMSI1
090-yyy	EF_IMSI2
090-zzz	EF_IMSI2

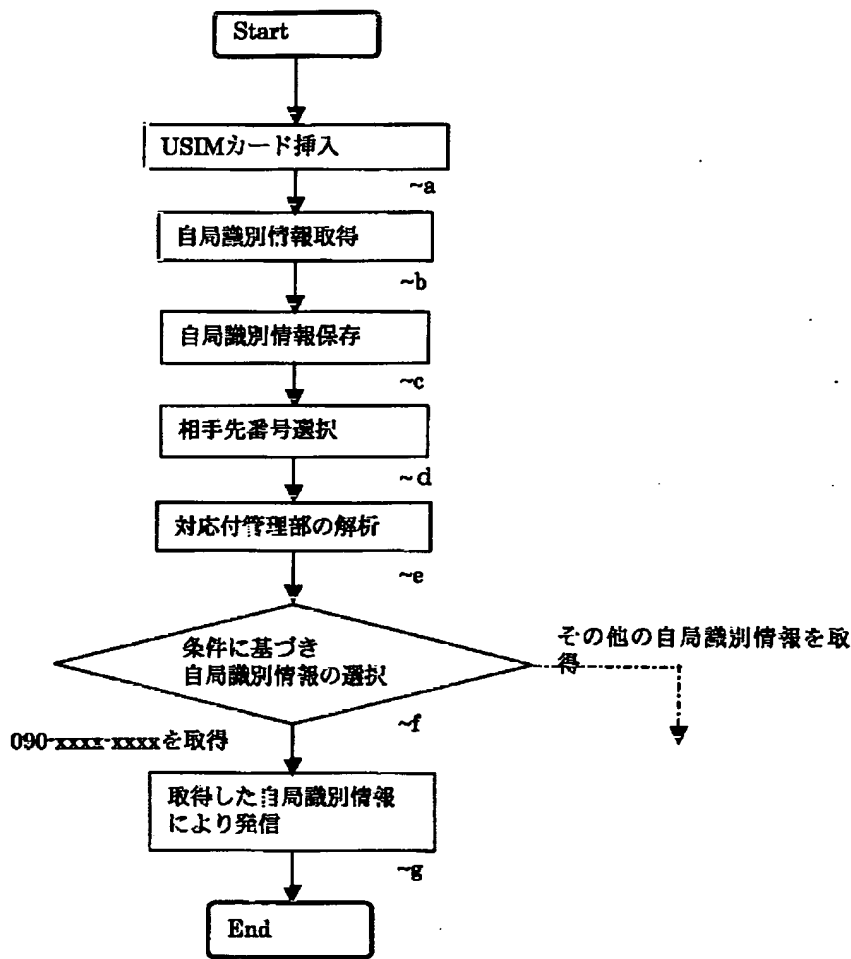
【図9】

相手先番号	発信時の自局識別情報
090-fff	EF_IMSI1
090-eee	EF_IMSI1
090-ttt	EF_IMSI3

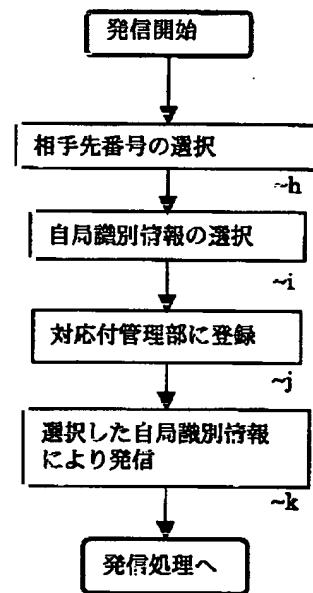
【図2】



【図3】



【図4】



【図8】

相手先番号	発信時刻履歴	発信を受けた自局識別情報
090-xxx	発信	EF_IMSI1
090-yyy	発信	EF_IMSI1
090-zzz	発信	EF_IMSI3

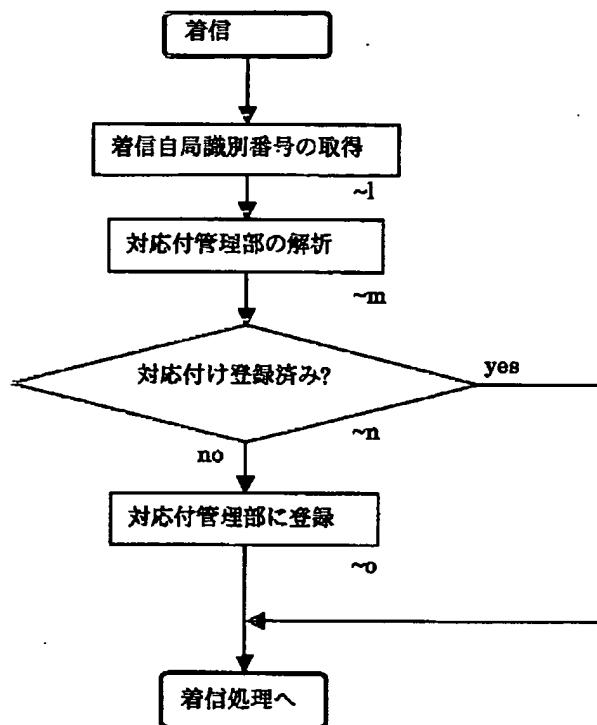
【図10】

相手先番号	指定時間	時間による対応付け
090-xxx	PM11:00-AM7:00	EF_IMSI3
090-yyy	PM11:00-AM7:00	EF_IMSI3
090-zzz	PM11:00-AM7:00	EF_IMSI3

【図11】

相手先番号	発信時間	選択された自局識別情報
090-xxx	AM3:00	EF_IMSI3
090-yyy	PM8:00	EF_IMSI2
090-zzz	PM11:30	EF_IMSI3

【図5】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
H04M 11/00

識別記号
302

FI
H04B 7/26

109K

(参考)